

～ Audience / work of art [お客様 / 芸術作品] ～

横浜市泉区
ツクイ横浜中田
管理者 多田 英二
相談員 東 由樹子
作業療法士 田上 果林

1 はじめに

2014年4月のツクイ横浜中田デイサービス開所以来、「手工芸・趣味活動」を前面に出し、お客様の笑顔集めをしております。2016年6月よりセラピストをチームに迎える事により、グレードアップする事も出来ました。作品作成(趣味作業)を訓練プログラムにプラスし、手作業訓練などを楽しみを持って実施しております。作品が完成した時の「喜び」や「達成感」で心・精神面のプラスとなり、また次への「意欲・生きる」にも繋がる様にサポートさせて頂いております。

またデイサービスという物に当てはまらない何かを目指しております。

2 事例や取り組みの紹介

2014年4月の開所より Audience / work of art 「お客様 / 芸術作品」にこだわり、参加型イベントとして毎月10回ほどはご用意しておりました。普通のデイサービスと言われる事ない様な物を趣味作業で提供し、ご家族様や若い世代の方にも受け入れてもらえそうなレベルの作品などを用意しておりました。持ち帰って頂いた作品により笑顔のコミュニケーションのお手伝いになっている様です。お客様が作品をご家族様や若い世代の方に作品を見せ、その方たちと繋がる事が出来き笑顔の機会が増えている様です。そんな話をデイに来所された時には、笑顔で嬉しそうに・自慢げにお話を下さいます。この中で、「うつ」をお持ちのお客様がご利用イベントに参加されておりました。当初は表情も重く硬く利用されておりましたが数回のイベント「木材とエアープランツ」「ペパナップフラワー」「メルトアート」「ストリングスアート」などに参加される内に笑顔が増え、積極的にイベントにも参加される様になり、体験された事の無いものなどは特に積極的に意欲的でありました。

状態も良くなり最終的には介護保険を笑顔で卒業する事となりました。

その他のお客様でも継続的にイベントに参加されていますが、作品でのコミュニケーションによる事で、自身の存在を再認識し次に繋がる意欲となっている様です。

この様な事を継続的に実施し機能訓練プログラムの中にも加えて出来る様に致しました。

お客様希望と残像機能を生かせる様、訓練プログラムを考えさせて頂いております。機能訓練プログラムでの作品作成・作業もプラスし「出来ないを出来た」に変え、新たな発見・自信・在宅生活継続の為に、他職種との連携も図りお客様へのサポートをさせて頂いて居るところでありました。

2016年6月よりツクイ横浜中田での Audience / work of art 「お客様 / 芸術作品」に作業療法士が加わる事になり、手作業/巧緻動作訓練の導入を計り強化致しました。

機能訓練プログラムでの作業療法の一環として、曜日を限定し、「切り絵」を導入しております。セラピストが入職した当時から、デイサービス内で切り絵に取り組まれているお客様がおり、その完成

度の高さに驚くと同時に、他のお客様でも「私もできるかもしれない」「私もやってみたい！」という気持ちを増やせないか、と考えました。

作業を導入するにあたり、いくつかの工程に分け、実施いたしました。

- ① デイサービスでの機能訓練スペースの壁面に切り絵の常設展示スペースを確保
- ② 2週間～3週間のペースで展示作品の変更
- ③ 機能訓練時にお客様へ展示スペースを開始したことを周知
- ④ 興味を示してくれたお客様へ、図柄の大きいものからお試しでの作業導入
- ⑤ 2～3回実施し、今後も継続して実施できるか、ご本人と相談
- ⑥ 実施継続の場合、機能訓練プログラムの内容に落とし込み、作品の作成
→出来上がったものは写真 or カラーコピーで作品保存

出来上がった作品はご自宅へお持ち帰り頂き、デイサービス内で展示し、ご本人とほかの方々との会話の機会を増やし、営業所とご本人、ご家族との情報共有を行っております。作業集団は4～5名の少人数で実施し、作業時間は1時間～1時間30分程度とし、作業の途中でお茶やコーヒーなどを提供し、ブレイクタイムを設定しております。

昨年12月より作業工程開始し、現在に至りますが、お客様の中には日常生活の中で、切り絵の時間を設定し、趣味活動、日中の生活リズムとして活用、定着してきているお客様もいらっしゃいます。

また、外出の機会やご本人の自信、自己表現の機会につなげるため、日本きりえ協会のご協力もあり、東京都美術館での「きりえ美術展」への出品も決定いたしました。また泉区内ギャラリーでの作品展も決定しており、こちらではアーティスト（作成したお客様）にも作品の説明者として参加出来るか調整中であります。

今後も、このプログラムを継続して実施し、作業療法での「切り絵や作品制作」を取り組むことでの精神状態や身体状態への効果も考察していければと思います。

3 考察

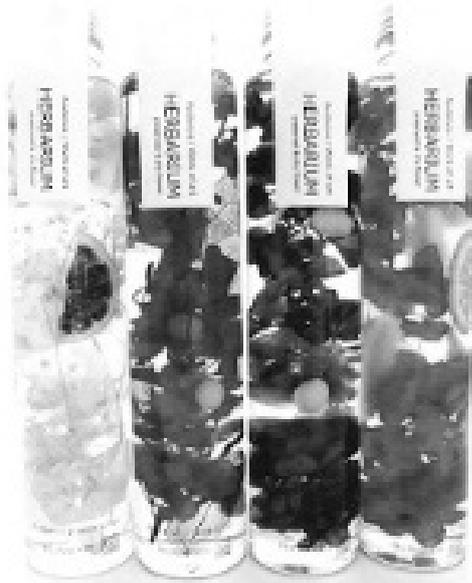
作品による作業療法・訓練・作成・披露などでのコミュニケーションで再度自分の存在を認識し、今の時代を生きる事を感じて頂き更に精神状態や身体状態への向上へと繋ぐお手伝いが出来ていると思います。

4 おわりに

今後もこの様な活動をチームで継続し、多くのお客様が多くの方がと繋がる機会を持てる様にし、お客様の笑顔集めを継続して参ります。

「存在する事は、反射されて認識出来るもの」と考えます。その事をお手伝い出来る様に引き続き極めて参りたいと思います。

HERBRIUM



Audience / work of art

CUTART



Audience / work of art

- 左： お客様との作品 ハーバリウム
右： CUTART 作業療法 きりえ